

食育セミナーNo,68 ご存知ですか?日本の自給率問題 その1

食料自給率は、国内の食料消費が、国産でどの程度まかなわれているかを示す指標で、食生活の実態を示し、食料のカロリーから算出する「カロリーベース」と、食料の価格から算出する「生産額ベース」で表されます。

先進国の中でも日本の食料自給率は**カロリーベースで39%、生産額ベースで68%**となっており、共に最低の水準です。カロリーベースで言えば、昭和40年度には73%あったものが39%に落ち込んでおり、**日常的に食べ物から摂取するエネルギーの多くを輸入に頼っていることがわかります。**

スーパーなどの食料品売り場では、野菜や果物は国産品を多く見かけ、国産品を選んで

買っている家庭も多いと思います。そのため、生産額ベースの食料

自給率はカロリーベースほど落ち込んでいません。それは、野菜

や果物などはカロリーが比較的 low、カロリーベースには

反映されにくい反面、生産額ベースには反映されているからです。

日本の食料自給率や食の大切さについて考えましょう。

(フード・アクション・ニッポン「FAN」より)

自給率問題

